



2026年6月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <https://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 経経本部長 (氏名) 吉沢 翔

TEL 03-5475-8141

半期報告書提出予定日 2026年2月13日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年7月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	1,243	15.3	76		41		42	
2025年6月期中間期	1,467	20.3	21		13		16	

(注) 包括利益 2026年6月期中間期 12百万円 (%) 2025年6月期中間期 2百万円 (%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	6.61	
2025年6月期中間期	2.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	2,889	2,251	77.6
2025年6月期	2,794	2,196	78.3

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 2,243百万円 2025年6月期 2,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期		0.00		0.00	0.00
2026年6月期		0.00			
2026年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 6月期の連結業績予想(2025年 7月 1日～2026年 6月30日)

2026年 6月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想数値の算定が困難であることから記載しておりません。

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期中間期	6,578,975 株	2025年6月期	6,518,975 株
期末自己株式数	2026年6月期中間期	91,581 株	2025年6月期	91,581 株
期中平均株式数(中間期)	2026年6月期中間期	6,487,394 株	2025年6月期中間期	6,422,094 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復しております。企業収益は、同政策等による影響が一部にみられる中で、改善に足踏みがみられておりますが、個人消費は、消費マインドに持ち直しの動きがみられており、実質総雇用者所得は緩やかに持ち直しております。

当社グループにおきましては、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」「電子コミック・コンシューマ」の4区分で事業を運営しております。

当中間連結会計期間における売上は、「電子コミック・コンシューマ」が増加したものの、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」が減少し、1,243,332千円（前年同期比15.3%減）となりました。費用は、販売手数料の減少、給料の減少、広告宣伝費の減少、賃借料の減少及び外注費の減少等により、全体として減少しました。その結果、営業損失は76,209千円（前年同中間期は営業損失21,611千円）、経常損失は41,269千円（同経常損失13,288千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は42,902千円（同親会社株主に帰属する中間純損失16,182千円）となりました。

事業区分別の主要タイトル、その略称及び経営成績は、以下のとおりであります。

事業区分	分類	主要タイトル	略称
日本語女性向け	読み物型（注1）	100シーンの恋+	100恋+
	アバター型（注2）	天下統一恋の乱 Love Ballad 誓いのキスは突然に Love Ring 眠らぬ街のシンデレラ 鏡の中のプリンセス Love Palace 王子様のプロポーズ Eternal Kiss 魔界王子と魅惑のナイトメア 幕末維新 天翔ける恋	恋乱 誓い シンデ ミラプリ 王子 魔界 幕天
	カード型（注3）	あやかし恋廻り アニドルカラーズ	あや恋 アニドル
	ファンダム（注4）	ボルSHOP	—
英語・アジア女性向け	読み物型	Love365: Find Your Story（注5）	Love365
	アバター型	Court of Darkness	Darkness
男性向け	カード型	六本木サディスティックナイト	六本木
電子コミック・コンシューマ	電子コミック販売ストア	ぼるコミ	—
	電子コミックレーベル	ボル恋comic ボル恋TOON	VC VT00N
	Nintendo Switch/Steam向け	ボル恋移植タイトル even if TEMPEST 宵闇にかく語りき魔女 レッドベルの慟哭 ネオンクラッシュ -Echoes of the Lost-	— テンペスト魔女 レッドベル ネオンクラッシュ

①日本語女性向け

日本語女性向けは、「読み物型」「アバター型」「カード型」「ファンダム」に分類して展開しております。

主に「アバター型」「読み物型」が減少したことにより、売上高は689,893千円（前年同中間期比21.1%減）となりました。

②英語・アジア女性向け

主に「アバター型」「読み物型」が減少したことにより、売上高は109,129千円（前年同中間期比22.4%減）となりました。

③男性向け

主に「カード型」が減少したことにより、売上高は310,288千円（前年同中間期比9.0%減）となりました。

④電子コミック・コンシューマ

主にNintendo Switchのオリジナルタイトル、移植タイトルが増加したことにより「Nintendo Switch/Steam向け」が増加し、売上高は134,020千円(前年同中間期比20.8%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産の部)

当中間連結会計期間末の総資産は、2,889,406千円(前連結会計年度末比94,715千円増)となりました。

流動資産は、1,903,416千円(同138,744千円減)となりました。その主な要因は、預け金の増加110,049千円があった一方で、現金及び預金の減少259,613千円があったことによるものであります。

固定資産は、985,989千円(同233,460千円増)となりました。その主な要因は、投資有価証券取得等による投資その他の資産の増加222,957千円によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、637,703千円(同39,623千円増)となりました。

流動負債は、488,941千円(同16,042千円増)となりました。その主な要因は、預り金の減少13,891千円及びその他の減少12,106千円があった一方で、賞与引当金の増加23,882千円、未払費用の増加10,052千円及び未払金の増加8,062千円があったことによるものであります。

固定負債は、148,762千円(同23,581千円増)となりました。その主な要因は、繰延税金負債の増加25,579千円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は、2,251,702千円(同55,091千円増)となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加55,576千円並びに新株予約権行使による資本金20,970千円及び資本準備金20,970千円の増加があった一方で、親会社株主に帰属する中間純損失の計上による利益剰余金の減少42,902千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年6月期より、市場動向を鑑みて戦略を軌道修正し、2027年6月期頃にアプリと新分野(電子コミック・コンシューマ)での「事業3本柱」を成立させるべく経営を進めております。日女アプリはファンダムの充実及びアプリ形態を進化させ採算性の向上を図る「ファンダム戦略」、新分野はF・G期投資(注6)として拡大と強力IP(注7)創出に向けた「ヒットIP戦略」を推進中です。

2026年6月期第1四半期以降、アプリ事業においては、主に積極的なプロモーションやコスト効率化に注力し、新分野においては、商品開発への投資増、ヒット路線の開拓、並びに商品ライン増に注力しております。

なお、業績予想については、当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難であるため、非開示といたします。

- (注) 1. 読み物型：ストーリーを楽しむことがメインとなるタイプのアプリ。
2. アバター型：ストーリーをメインに、アバターなどのゲーム性を組み合わせたタイプのアプリ。
3. カード型：カードの収集・育成要素を持つタイプのアプリ。
4. ファンダム：作品へのポジティブな深い感情的なつながりから生まれたファン文化。当社グループのタイトルを消費するだけでなく、共感・応援するファン集団を指す。
5. Love365: Find Your Story：日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳した海外市場向けコンテンツであり、1つのアプリ内で複数のタイトルが楽しめる「読み物アプリ」。
6. F・G期投資：管理会計上の投資区分。2024年以降を指す。
7. IP: Intellectual Property (知的財産)。当社オリジナルのタイトル1つ1つを指す。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,515	1,065,902
売掛金	329,797	325,148
商品	11,764	12,664
前払費用	22,093	36,956
預け金	352,053	462,103
その他	942	648
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	2,042,161	1,903,416
固定資産		
有形固定資産	15,345	15,530
無形固定資産		
ソフトウェア	48,125	58,443
無形固定資産合計	48,125	58,443
投資その他の資産		
投資有価証券	406,574	632,934
その他	282,482	279,080
投資その他の資産合計	689,057	912,015
固定資産合計	752,529	985,989
資産合計	2,794,690	2,889,406
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,444	52,494
未払金	407	8,470
未払費用	143,272	153,324
契約負債	205,860	200,495
未払法人税等	12,340	11,698
預り金	30,284	16,392
1年内返済予定の長期借入金	3,996	3,996
賞与引当金	—	23,882
その他	30,293	18,186
流動負債合計	472,899	488,941
固定負債		
長期借入金	97,689	95,691
繰延税金負債	27,491	53,071
固定負債合計	125,180	148,762
負債合計	598,079	637,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,251,387	1,272,357
資本剰余金	1,216,987	1,237,957
利益剰余金	△239,394	△282,296
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	2,128,758	2,127,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,731	115,307
その他の包括利益累計額合計	59,731	115,307
新株予約権	8,121	8,599
純資産合計	2,196,611	2,251,702
負債純資産合計	2,794,690	2,889,406

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,467,471	1,243,332
売上原価	698,170	644,444
売上総利益	769,300	598,887
販売費及び一般管理費	790,912	675,097
営業損失(△)	△21,611	△76,209
営業外収益		
受取利息	1,005	1,442
受取配当金	1,137	2,278
為替差益	4,549	18,534
投資有価証券売却益	—	10,664
不動産賃貸料	4,578	4,625
雑収入	330	575
営業外収益合計	11,600	38,121
営業外費用		
支払利息	584	708
不動産賃貸費用	2,098	2,472
雑損失	594	—
営業外費用合計	3,277	3,180
経常損失(△)	△13,288	△41,269
税金等調整前中間純損失(△)	△13,288	△41,269
法人税、住民税及び事業税	2,893	1,633
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	2,893	1,633
中間純損失(△)	△16,182	△42,902
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△16,182	△42,902

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純損失(△)	△16,182	△42,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,459	55,576
その他の包括利益合計	13,459	55,576
中間包括利益	△2,722	12,673
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△2,722	12,673

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

従来「モバイルコンテンツ事業」としておりましたセグメント名称を、当社グループの事業内容をより適切に表現するため、当中間連結会計期間より「デジタルコンテンツ事業」へ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前中間連結会計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ20,970千円増加しております。この結果、当中間連結会計期間末において資本金が1,272,357千円、資本剰余金が1,237,957千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。